【 42 】

氏名	西 谷 恭 子
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1644 号
学位授与の日付	昭和61年 3 月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学位論文題目	**急性肝不全における腎臓の役割（グアニジノ化合物と肝腎の代謝関係）**
論文審査委員	教授 長島秀夫　教授 太田善介　教授 大森弘之

学位論文内容の要旨

尿素サイクルに関して，肝臓と腎臓での代謝に関係があることが知られている。急性肝不全患者で血中グアニジノ酢酸増加を認めたので，ラットを用いて急性肝不全モデルを作成し，肝・腎・血清のグアニジノ化合物を高速液体クロマトグラフィーで分析した。その結果，肝不全時には腎臓でのアルギニンからグアニジノ酢酸を合成する比率が高まることが確認された。また，$\frac{\text{〔血清アルギニン〕}}{\text{〔血清グアニジノ酢酸〕}}$と$\frac{\text{〔腎皮質アルギニン〕}}{\text{〔腎皮質グアニジノ酢酸〕}}$が相関を示し，$\frac{\text{〔血清アルギニン〕}}{\text{〔血清グアニジノ酢酸〕}}$の測定により，腎臓の代謝面での代償能が評価できると考えられた。さらに，グアニジノ酪酸が肝臓・腎臓に高濃度に認められ，肝障害とともに血中に放出される傾向があった。

論文審査の結果の要旨

本研究は急性肝不全における腎臓の役割について研究したもので，従来明らかでなかったグアニジノ化合物と肝腎の代謝関係について重要な知見を得たもので価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。